

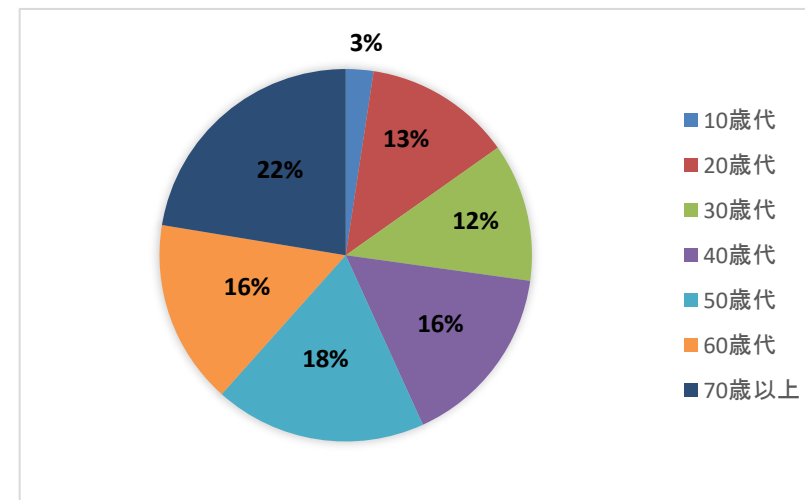
第4回 防災意識についてのアンケート

【アンケート実施期間】 令和7年7月18日～令和7年7月31日

【アンケートの目的】 能登半島地震課題検証会議の取り組み指標となる見込みのため。

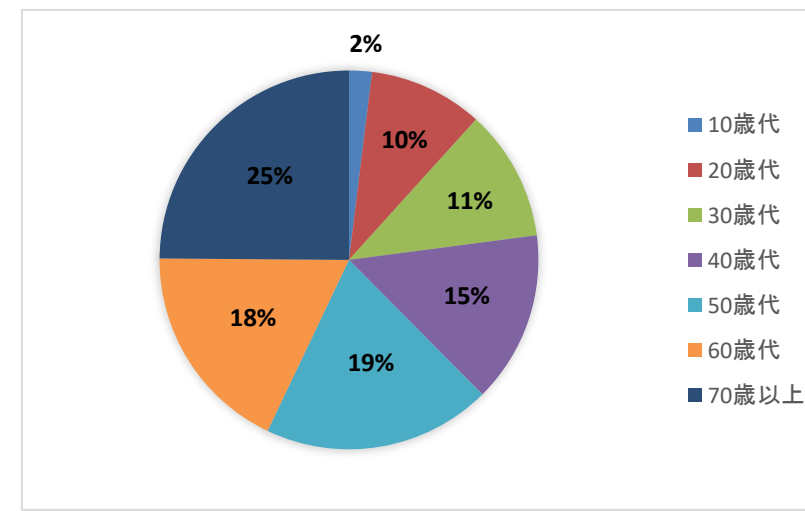
【対象者数】 250 名

内訳	人数	%
10歳代	6	2.4
20歳代	32	12.8
30歳代	30	12.0
40歳代	40	16.0
50歳代	46	18.4
60歳代	40	16.0
70歳以上	56	22.4
計	250	100.0



【回答者数】 205 名

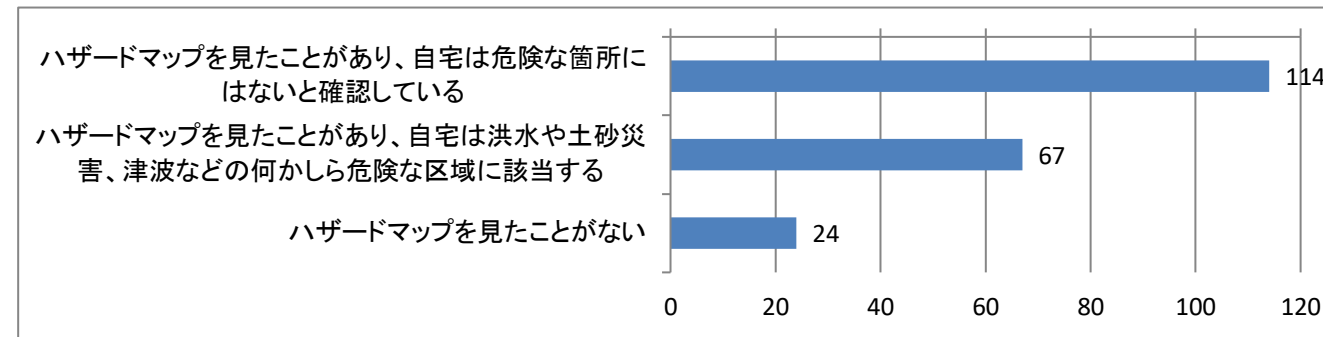
内訳	人数	%
10歳代	4	2.0
20歳代	20	9.8
30歳代	23	11.2
40歳代	30	14.6
50歳代	40	19.5
60歳代	37	18.0
70歳以上	51	24.9
計	205	100.0



【回答率】 82.0%

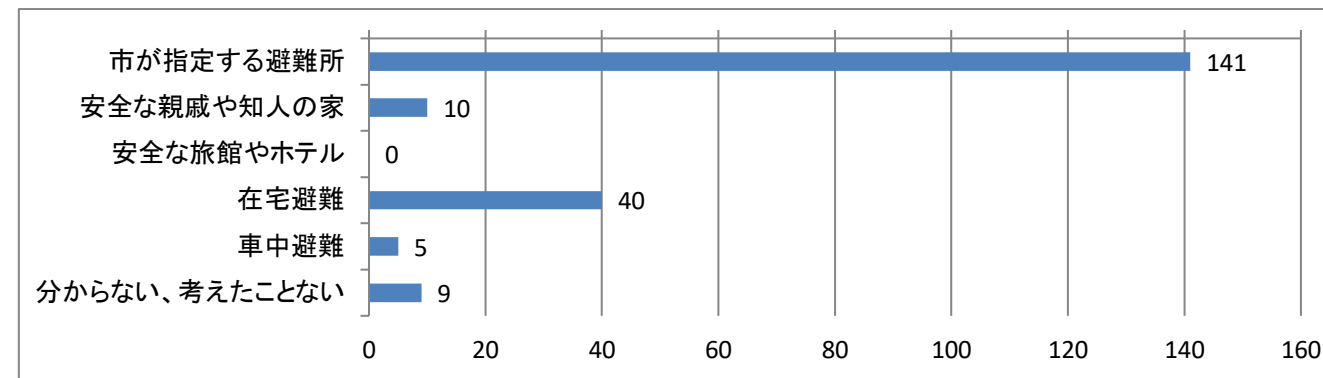
問1 金沢市のハザードマップを見たことがありますか。

回答	人数	%
ハザードマップを見たことがあります、自宅は危険な箇所にはないと確認している	114	55.6
ハザードマップを見たことがあります、自宅は洪水や土砂災害、津波などの何かしら危険な区域に該当する	67	32.7
ハザードマップを見たことがない	24	11.7



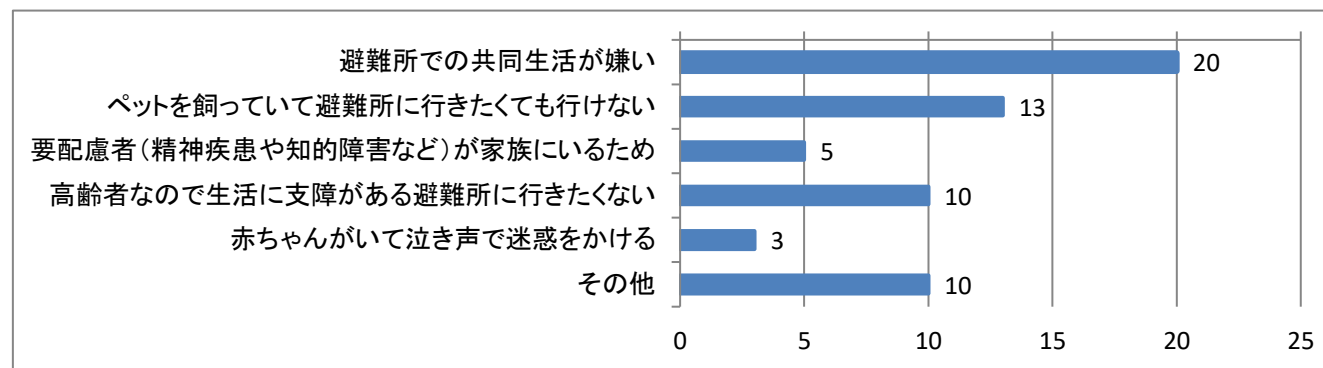
問2 あなたや家族の避難する場所はどこですか。

回答	人数	%
市が指定する避難所	141	68.8
安全な親戚や知人の家	10	4.9
安全な旅館やホテル	0	0.0
在宅避難	40	19.5
車中避難	5	2.4
分からない、考えたことない	9	4.4



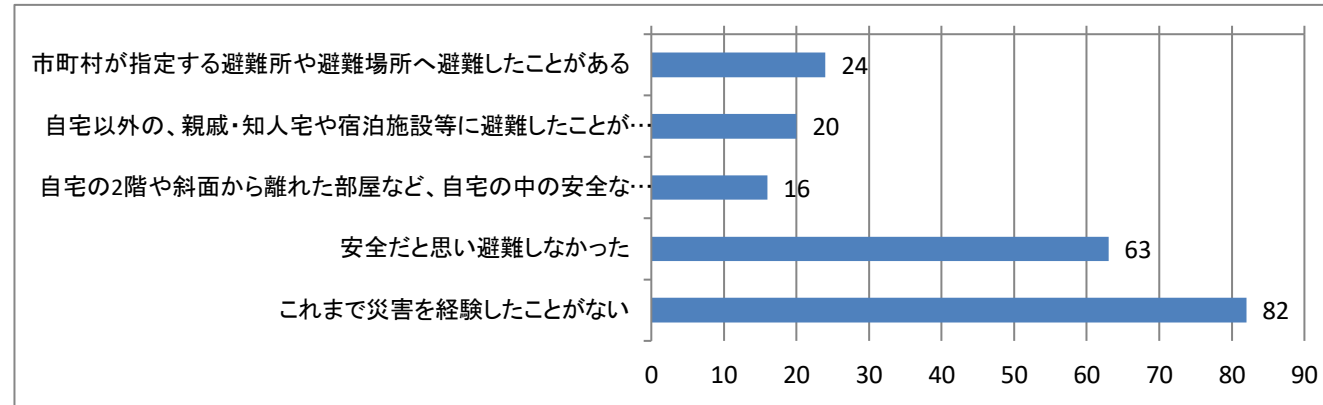
問2-1 問2で「在宅避難」「車中避難」と答えた方に質問です。理由は何ですか。

回答	人数	%
避難所での共同生活が嫌い	20	9.8
ペットを飼っていて避難所に行きたくても行けない	13	6.3
要配慮者（精神疾患や知的障害など）が家族にいるため	5	2.4
高齢者なので生活に支障がある避難所に行きたくない	10	4.9
赤ちゃんがいて泣き声で迷惑をかける	3	1.5
その他	10	4.9



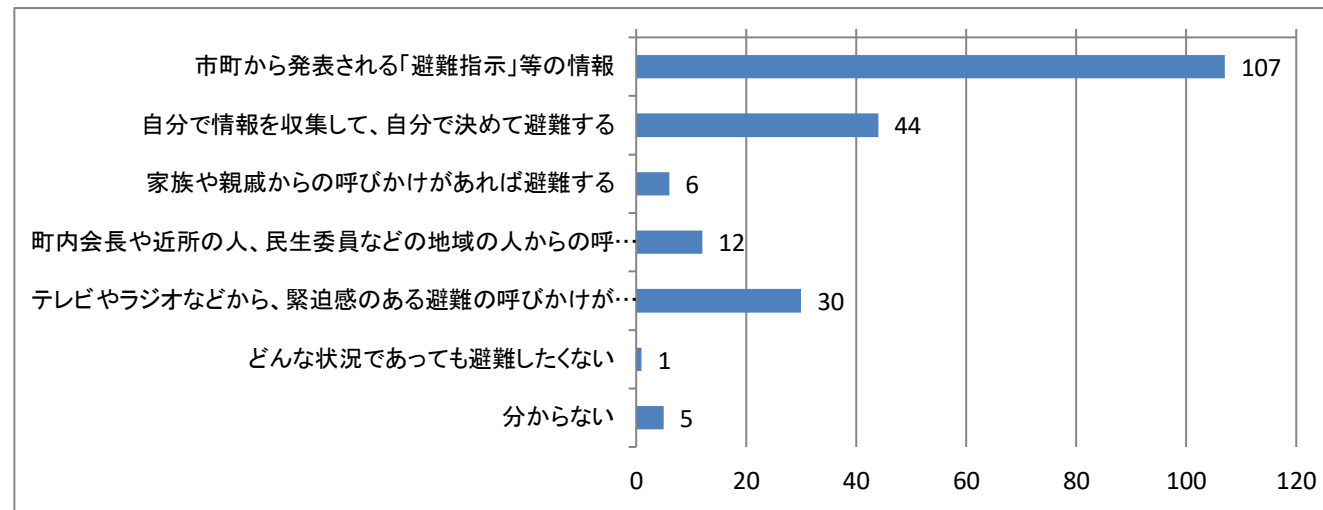
問3 大雨や地震などの災害が発生した際に、実際に避難したことがありますか

回答	人数	%
市町村が指定する避難所や避難場所へ避難したことがある	24	11.7
自宅以外の、親戚・知人宅や宿泊施設等に避難したことがある	20	9.8
自宅の2階や斜面から離れた部屋など、自宅の中の安全な部屋に避難したことがある	16	7.8
安全だと思い避難しなかった	63	30.7
これまで災害を経験したことがない	82	40.0



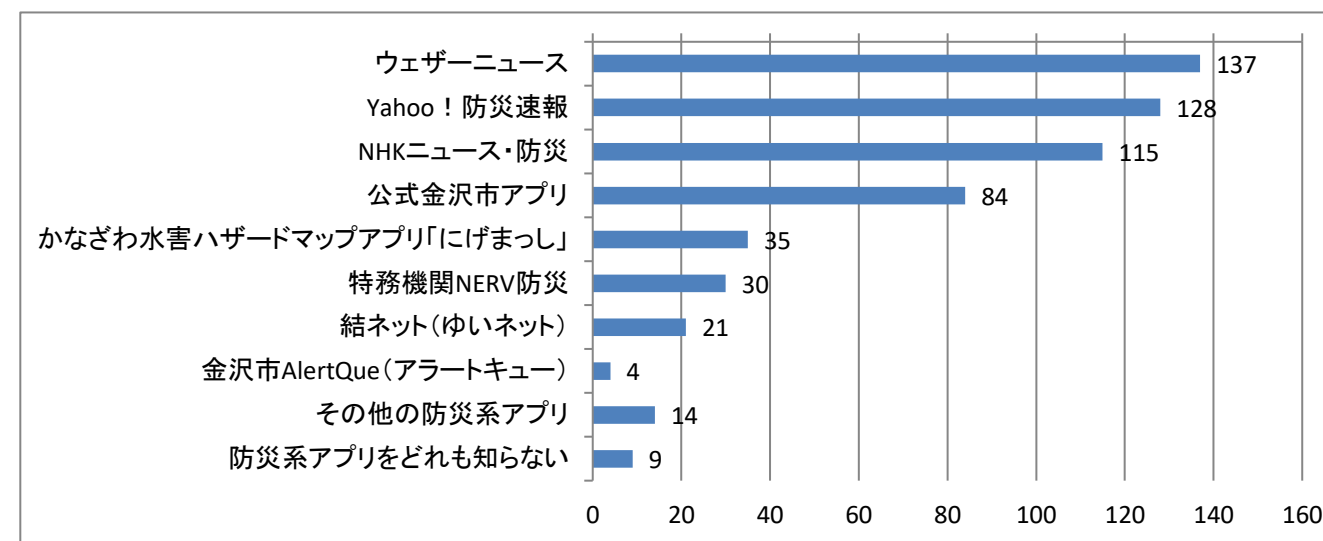
問4 あなたが避難行動を開始するきっかけはどれですか。

回答	人数	%
市町から発表される「避難指示」等の情報	107	52.2
自分で情報を収集して、自分で決めて避難する	44	21.5
家族や親戚からの呼びかけがあれば避難する	6	2.9
町内会長や近所の人、民生委員などの地域の人からの呼びかけがあれば避難する	12	5.9
テレビやラジオなどから、緊迫感のある避難の呼びかけがあれば避難する	30	14.6
どんな状況であっても避難したくない	1	0.5
分からない	5	2.4



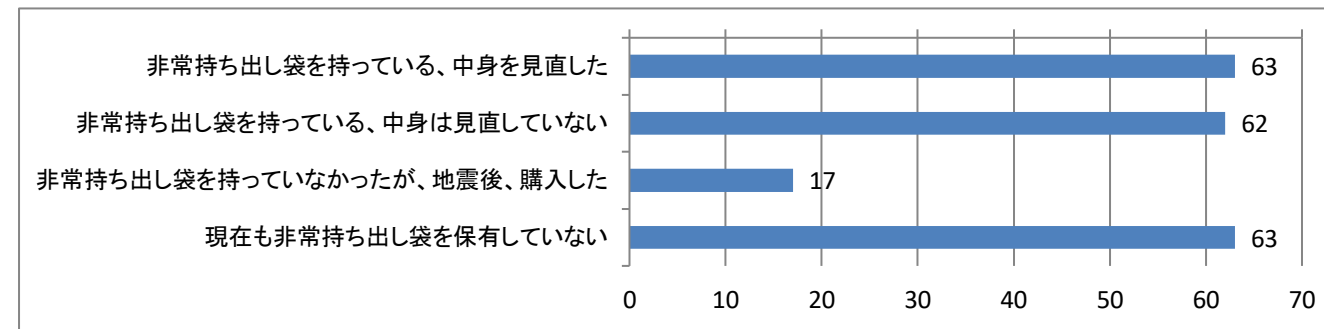
問5 あなたの知っている防災系アプリを教えてください。（当てはまるものすべて選択）

回答	人数	%
ウェザーニュース	137	66.8
Yahoo! 防災速報	128	62.4
NHKニュース・防災	115	56.1
公式金沢市アプリ	84	41.0
かなざわ水害ハザードマップアプリ「にげまっし」	35	17.1
特務機関NERV防災	30	14.6
結ネット（ゆいネット）	21	10.2
金沢市AlertQue（アラートキュー）	4	2.0
その他の防災系アプリ	14	6.8
防災系アプリをどれも知らない	9	4.4



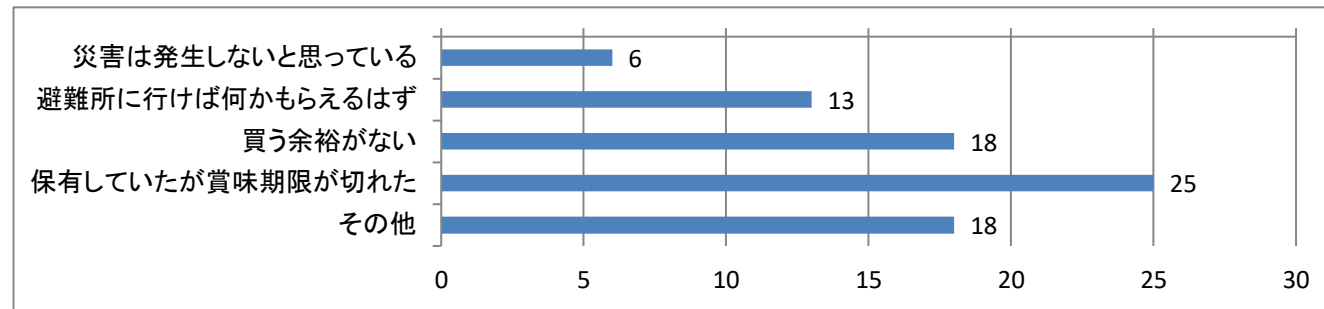
問6 あなたの家には非常持ち出し袋を持っていますか。能登半島地震を踏まえ、中身を見直しましたか。

回答	人数	%
非常持ち出し袋を持っている、中身を見直した	63	30.7
非常持ち出し袋を持っている、中身は見直していない	62	30.2
非常持ち出し袋を持っていなかったが、地震後、購入した	17	8.3
現在も非常持ち出し袋を保有していない	63	30.7



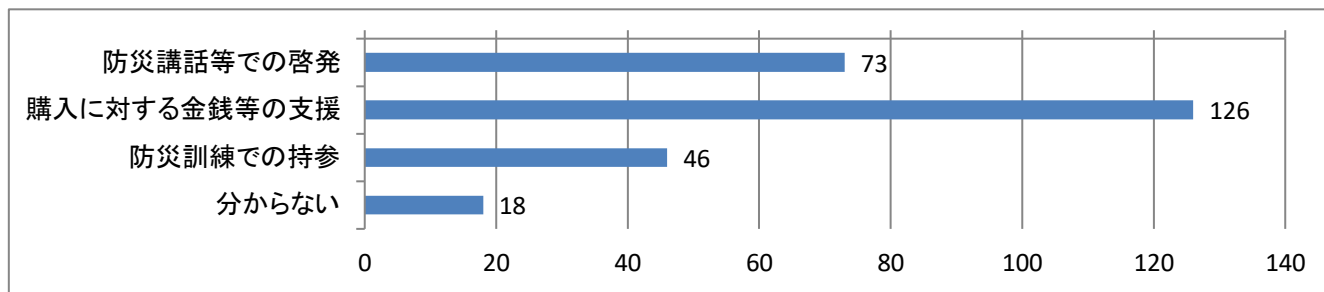
問6-1 問6で「現在も非常持ち出し袋を保有していない」と答えた方に質問です。保有していない理由を教えてください。

回答	人数	%
災害は発生しないと思っている	6	2.9
避難所に行けば何かもらえるはず	13	6.3
買う余裕がない	18	8.8
保有していたが賞味期限が切れた	25	12.2
その他	18	8.8



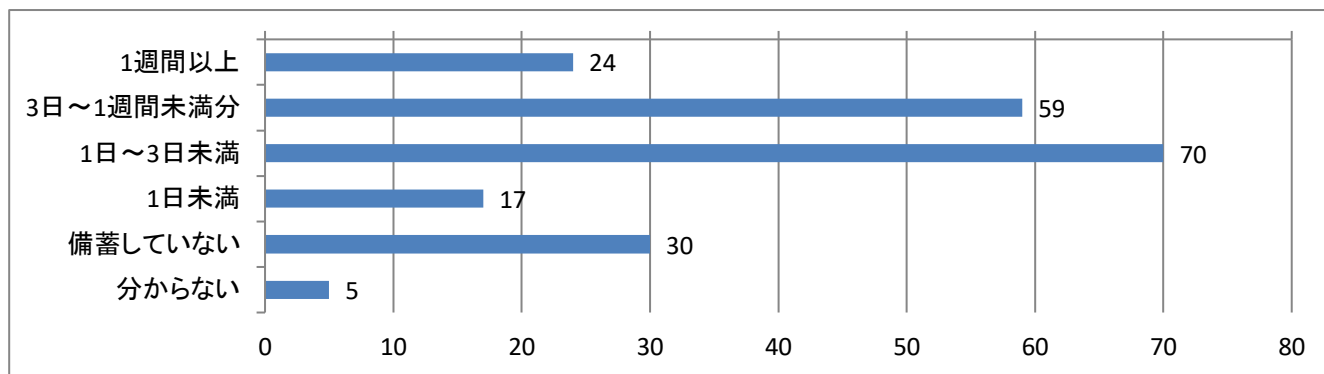
問6-2 非常持ち出し袋の保有率上昇させるためには、どのような方策が効果があると思いますか。

回答	人数	%
防災講話等での啓発	73	35.6
購入に対する金銭等の支援	126	61.5
防災訓練での持参	46	22.4
分からない	18	8.8



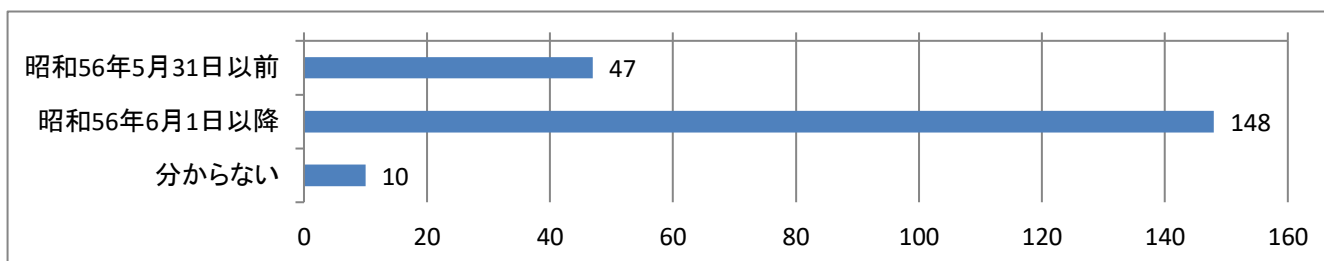
問7 非常用の食料や飲料水は何日分備蓄していますか。

回答	人数	%
1週間以上	24	11.7
3日～1週間未満	59	28.8
1日～3日未満	70	34.1
1日未満	17	8.3
備蓄していない	30	14.6
分からない	5	2.4



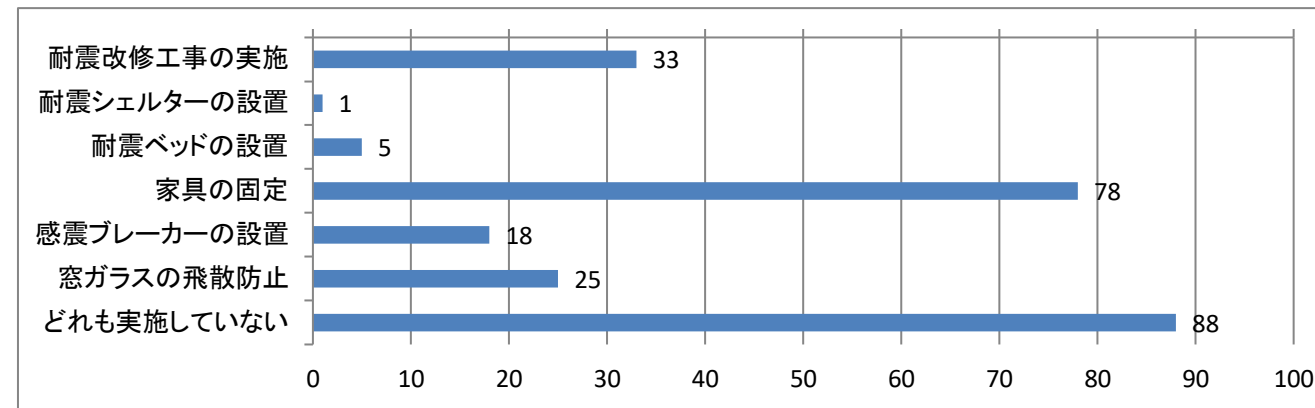
問8 あなたがお住いの住宅の建築時期はいつですか。

回答	人数	%
昭和56年5月31日以前	47	22.9
昭和56年6月1日以降	148	72.2
分からない	10	4.9



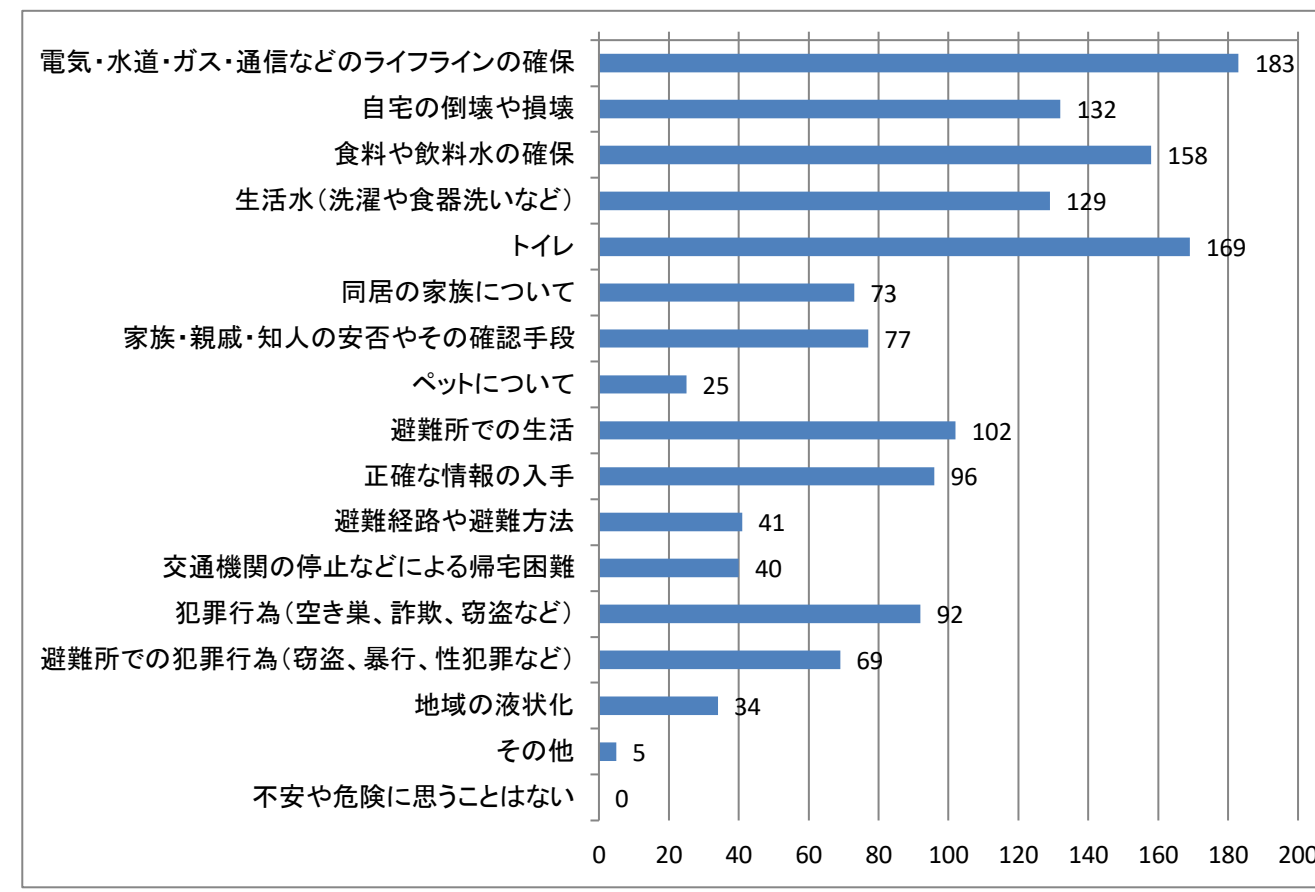
問9 あなたがお住いの住宅で実施している地震対策は何ですか。(当てはまるものをすべて選択)

回答	人数	%
耐震改修工事の実施	33	16.1
耐震シェルターの設置	1	0.5
耐震ベッドの設置	5	2.4
家具の固定	78	38.0
感震ブレーカーの設置	18	8.8
窓ガラスの飛散防止	25	12.2
どれも実施していない	88	42.9



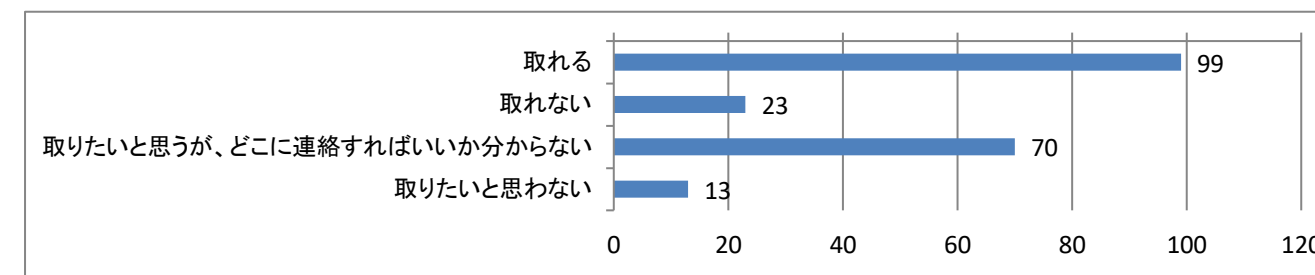
問10 大規模災害が発生した場合、不安や危険に思うことは何ですか。(当てはまるものをすべて選択)

回答	人数	%
電気・水道・ガス・通信などのライフラインの確保	183	89.3
自宅の倒壊や損壊	132	64.4
食料や飲料水の確保	158	77.1
生活水(洗濯や食器洗いなど)	129	62.9
トイレ	169	82.4
同居の家族について	73	35.6
家族・親戚・知人の安否やその確認手段	77	37.6
ペットについて	25	12.2
避難所での生活	102	49.8
正確な情報の入手	96	46.8
避難経路や避難方法	41	20.0
交通機関の停止などによる帰宅困難	40	19.5
犯罪行為(空き巣、詐欺、窃盗など)	92	44.9
避難所での犯罪行為(窃盗、暴行、性犯罪など)	69	33.7
地域の液状化	34	16.6
その他	5	2.4
不安や危険に思うことはない	0	0.0



問11 あなたのお住いの地域の民生委員、防災委員、町会長等どなたかと災害の際に連絡が取れますか。

回答	人数	%
取れる	99	48.3
取れない	23	11.2
取りたいと思うが、どこに連絡すればいいかわからない	70	34.1
取りたいと思わない	13	6.3



問12 防災に関するご意見、または、防災出前講座で市民に啓発すべきことがあればご提案ください。

【防災啓発について】

- ・金沢市主導で各町会での説明会を定期的に行う
 - ・阪神淡路大震災以降の建築基準に適合し、比較的安心できる耐震構造のマンションを住居としているが、マンション管理組合や町会が実施する災害対応方に関する施策の企画等の取組みが少ないと感じているところ。「防災に関連出前講座」の活用方について大規模マンション単位や町会単位からの要請に対応することが出来る「講座」である事すら知らない組織も多く、実施する機会をとらえて、他の組織体にPRをして、ぜひ幅広く「防災意識の高揚」を図るための第一歩として(出前講座を)活用されたい。
 - ・人を集めて講話するよりも、防災ハンドブックの様な持ち運び可能なマニュアルの配布をして欲しい
 - ・非常用の水や糧食等の備蓄については準備はするが更新することを忘れてしまうことが多い。「市防災週間」を設定し期間中に地震対策等の見直しをPRして防災意識の高揚をはかる又非常持ち出し袋の配布も意識の高揚になるのでは。
 - ・実感がないことに人は興味を持たないし動かないので、ぜひ能登地震で被災された方の話などを伝えて、みんなに自分ごととして捉えてもらう活動が必要だと思う。VRなどで被災している映像を作って体験してもらう事も効果的だと考える。
 - ・災害時は行政や他人を頼ることがすぐできないかもしれないので、市民一人ひとりが自分の命を守るように最低3日分、トイレと水、食料の備蓄をするよう徹底させるよう意識改革が必要です。のど元過ぎれば熱さを忘れるのように、忘れてしまわないよう継続して啓発することが大事だと思います。
 - ・パニックにならない為の講座的な事があれば良いと思う。
 - ・講座出席者にまわりの人への声掛けをお願いします。
 - ・定期的に実施が必要だと思います。地域も区切って公民館や学校などを使っての実施や他の公共施設を使って実施するのが身近に感じられるのではないかと思います。地域によって被害想定も違いますから。
 - ・能登地震を経験している人が大部分だと思うので、それを踏まえた取り組みをした方が良いように思う。また、数年前の大雪ではスーパーやコンビニに食材が入荷されなくて、能登地震は数日間で水不足が解消された。物流がどうなっていて、食料や飲料水の不足が流通事情と照らし合わせて何日程度で復旧するかをアナウンスしてくれると、市民の不安が少しは緩和され、買いだめなどもある程度は防げるのではないか。
 - ・最近は災害が多発していて実際に他人事ではなくなっているにも関わらずまだ心の中では大丈夫、とってしまう。私自身が防災士なので少しは危機感を持っているが果たしてどれだけ動けるか自信はない。訓練を繰り返すしかないと思います。待ったなし、の啓発を根付かせるしか無い。
 - ・金沢市アプリなどで、点検チェック表など簡単に防災意識がつくようなものを定期的に流す。(印刷できると実家などでも点検できる)
- 金沢市アプリで防災士さんからのチェックポイント短時間動画(金沢に特化しても良いかも)をシリーズで配信する
- ・正確な情報を入手して緊急時に焦らないように啓発して欲しいです。
 - ・防災意識の啓もうが必要だ

【非常持ち出し袋について】

・防災袋の購入を回覧板で募集してほしい

・防災グッズや非常持ち出し袋に備蓄しておくの良い物をリストにして配布することにより意識するする人が増えるのではないのでしょうか

・物価高もあり、自身の非常用の食料の買い出しが後回しになっている事が気になっている。公民館には備蓄があるようだが、どれくらいの用意があるのか知りたい。使用期限が迫っているもの災害の訓練等で配ってはどうかと思う。

・無理の無いローリングストックの仕方、利用できるの良いスマホアプリ、推奨される防災バック、ハザードマップの見方

・能登地震をきっかけに市民に対する具体的な啓発活動。防災バックや懐中電灯など必需品の配付。

・金沢市で非常持ち出し袋の配布をぜひお願いしたい。更に、非常食の配布（乾パンでいいと思います）をぜひお願いしたい。

・一人暮らしの学生にとって金銭的余裕がない中で、いつ使うのか分からない防災道具を用意しておくのはなかなか手が出しにくいと感じてしまうので、例えば大学に学生分だけでも非常用の食料を備蓄しているなどの情報をもらえるとありがたいと思いました

・幼稚園、保育園、小学校に防災頭巾の準備を促すべきだと思います。（関東に住んでいた時は地震が多いので入学時に購入しました）

・家の耐震性向上はかなりのお金がかかります。非常用持ち出し袋にしてもお金が必要。アプリにしても古いスマホでは容量も一杯でしかも古いOSに対応していない事も多い。何をとってもそうですが結局、防災に関しても経済格差がそのまま反映されます。そこが難しいですね。

・能登地震の結果、周辺の下水道が液状化被災を受けている感じがあります。賃貸集合住宅ですが、建物にも、部分的にひび割れがあり、金沢といえども無傷ではないように思いました。非常持ち出しはローリングストックでやっていますが、3日分で9 k g /人もあるので、備蓄するのも場所をとって面倒で、4人で2 7 k gもあるので、実際に持ち出せるかかなりあやしいです。実際、さすがにそれだけの備蓄をローリングストックできていないです。

・備蓄した方がいい物はよくニュースとかでも伝えているが、全く用意していなかった場合どういうふうに困るのか漫画とかにして欲しい。例えば全く何も準備してないまま被災し、地震発生から3時間後にまずなにが必要になって困るのか、防災を備蓄するにはお金が必要など。必要になるかも分からないものにお金を使っている余裕がない。税金取ってもいいので、避難場所に3日分程度備蓄して欲しい。

・コロナ禍から、町会など、繰り延べ資産など増えているはずであり、行政からの助成も行い、町会から各世帯に非常用持ち出し袋を支給することも、一案かもしれない

・非常用食料、飲料水のセットが安く購入できるなら購入するかもしれない。非常食は高価だけど、ローリングストックを実践するのは面倒で、なかなか非常食を用意できていない。

・以前、金沢駅の地下広場にて防災のイベントが行われており、家族で参加しました。防災の心構えを学び、防災グッズを頂きました。そこから、足りない防災グッズを買い足しました。対策を施す良いきっかけになったので今後もイベントがあれば参加したいです。

・災害時の幼児に対する物資などがあるのか不安です。また、家にいるときに災害が起こるとは限らないなかで、防災バックをどこにおいておくのがよいのかも疑問で、オムツなどかさばるものは持っていけないような気がしています。こども2人以上の場合、子供2人を抱えるのが限界で、荷物は持てない可能性もあり実際どうしたらいいのか不安があります。

・非常食は1週間分くらい必要と聞くが、小さい家に住んでいる我が家では現実として置く場所を確保するのも難しいと感じます。最近の物価高及び収入の少なさでは、備蓄品を買うより毎日の食品等への出費を優先せざる得ない状況である。災害になった時もお金がある人が残る気がする。

・大きな避難バッグは喜寿を迎えた私にはかえて災難になり、危険を回避する最小限の持ち出しを考えたく思います

・防災用品購入費の補助があると、更に備えやすいです。

【防災無線・情報発信について】

・大音量でアナウンスされるが何を言ってるのか聞き取れないのでLINEやメール等で知らせたい

・防災無線など内容が聞き取れない。わかりやすく簡素にしたらどうかと思う。

・以前、能登地震の際に山側の地域在住で近所で地面の崩落や自宅での断水があったが1時間以上経ってもなんの情報もなく被害の激しい内灘や能登地方のことばかりで困った。断水も自宅周りの数軒のみでどうしたらいいのかどこに相談したらいいのかもわからなかった。

【防災訓練について】

・防災について、訓練後に話を聞く会をセットで実施してほしい。紙媒体は、身近な情報とセットで生きてくる。

・防災訓練への強制参加が必要だと思います

・早期の避難指示と訓練の徹底を実施してほしい

・森本富樫断層の地震発生時の予測を想定して地域の防災訓練をもう少し多く実施してほしいです。

・防災ハザードマップに応じた避難訓練を町会ですべき。近年増えているマンションでは避難訓練自体行われていない（紙媒体でのお知らせのみなど）物件も多い。それらに対して自治体（消防・警察含む）からの指導を検討してほしい

・能登地震を体験して、持ち出し袋の中身の点検と新しい物との交換をしました。いざという時、落ち着いて行動できるか不安もありますが備えはちゃんとしておきたいと思います。防災訓練に参加して、避難場所を確認しておきたいです。

【防災士について】

- 防災士の認知度向上
- 防災士を増やして欲しい。私もできたら防災士になりたい。

【その他】

- 町会長のLINEを共有するなど町会毎のLINEグループがあってもいい
- 避難所でのトイレを充実すべき
- ペットを連れての避難が不安です。

- マンション住いの為地域との繋がりが無い。チラシなどが投函されていても今個人情報保護の為か連絡先などの記載がない為未だに何処の町内会に所属しているのかも分かりません。

・アンケートをいただくまで、防災に関しては切迫感がないため無防備に近い状態であることに気づきました。
備蓄や避難などに関して、本当に必要なものは既存の情報とは違った観点があるとも聞きますので、実際に体験された方々の生の声、情報をお聞きできたらと思います。

- 救出に必要な最低限の居住者情報を地域住民が共有しておくこと
- 日頃から近所付き合いをして、いざという時に声かけしたり助け合うことも大切だということを知らせる。
- 災害は忘れた頃にやってくる
- 東京都などは、新築建物に対して太陽光パネルの義務化に向けて進んでいる。北陸は曇りが多く難しいとは思いますが、電気はなくてはならないものであり、インフラ面に対しての併発が必要と考えます。個人的に購入も考えていますが、高価であり、市としてはどのように考えているのか知りたいです。
- 防災には無防備だと改めて感じた。
- 常に他人事と考えず緊急時に備える
- 他国の災害時対応を報道で見て、日本がとても遅れていると思いました。もっと民間やNPOと協力体制を作るべきだと思います
- 地域住民の連携
- 近所での避難場所はわかるが、(地区外)外出中の場合の避難場所(誰でも行ける場所)があればいいと思う
- 防災出前講座とても役に立ちました。
- いざ災害が起こると事前にどんなに準備していてもあまり意味がないのではないかと感じてしまう、、、
- 川沿いにある地域なので、避難場所が適当では無い。もっとその地域に即した避難場所を示して欲しい。
- 大地震の時は怖かったが時がたつと少し薄れていくのがいけないと思います。いつ起こるか分からないので準備をしておかなければと思います。
- 避難場所や避難所となる建物は知っているが、実際大規模な災害が来るとそこはいっぱいになり結果、自宅避難が現実的となると思う。そうなった時速やかな情報収集や支援物資の受け取りが難しくなるのではないか。校下や町内の単位を班レベルまでフォーカスした避難訓練が必要かと思う。
- 指定避難所の開錠遅れがないよう、具体的な体制を事前に構築・周知しておくべきと思います。
- 自助、共助を強固にする

・有事の際行政はあてには出来ないということをもっとアナウンスすべきだ。特に発災直後はマンパワーに限りがあります。地域で個々で対策する取り組みが必要だがそれに対する補助はお願いしたい。

- 避難場所まで15分ほどかかる場合、どうしたらいいか？能登地震の時も車が渋滞したりする
- 防災専用のホームページを作成して欲しい。
- 有事の際は、みんな被害者なので、自分のことは自分でできるようにしたいし、みんなもできるようになってほしいです。

・能登地震の時は全く防災意識がなく、どうして良いか分からない状態でした。いつ、何が起きるか分からない事を身をもって知りました。防災意識をしっかりと持って行動したいです。

- 実際に避難生活をされた体験者から、普段どのような準備をすればよかったか具体的な話を聞いてみたい。
- 家屋が昭和56年以降ですが（我が家は59年に建築）能登地震時相当揺れたので耐震補助の対象外らしく築40数年経つし補助があればと常々思っている
- 避難所に何でも揃っているわけではないと知らせる方が、各自が準備中するのでは？
- 防災のとき、正しい行動が取りたいので、町内放送を入れてほしい。テレビやラジオは情報の範囲や対象者が多すぎる
- 携帯メールに精通して欲しい、特に後期高齢者。情報を速やかに得る手段を決めること
- 家族の事前話あいで避難場所の徹底
- お菓手帳を持っていれば、緊急時は同じ処方貰えること
- 災害が実際に起きた時、一斉の避難場所移動など皆への連絡が難しいと思われませんが。
- 高齢町会の連絡や安否は困難だと思う。プライバシー優先で近所のことも分からない。行き過ぎたプライバシーはどうにかならないか？法曹界の奴らがこの世を悪くしている。プライバシーよりも人の命を大切にすることが大事だと思う。
- 震災時、避難しようと家族に言いましたが、大丈夫だろうと言われ避難しませんでした。せめて2階に居ようと言っても、余震があると揺れるから嫌だと言われ、そのまま過ごしていました。正常性バイアスがかからないように啓蒙が必要だと感じます。
- 町内の集会所や公園に、防災井戸を掘っていただきたい。公園は大規模災害が起きたら避難民が押し寄せる場所だけど、水道インフラが崩壊したら干からびます。それなら井戸一つあったら煮炊きや衛生環境向上に、普段は花壇の水やりに使えらと思います。

・準備しなくてはと思いつつ、なかなか完成しない。何を準備したら良いか情報が多すぎて、最善がわからず立ち止まってしまう。準備についてタイプ別モデルケースを市が作ってくれと良い。購入しないといけないものも多くあるので、購入を奨励しているようになるかもしれないが、それでもモデルタイプを提示してくれると準備に自信が持てる。

- 本当に怖い、近所にいる家族が心配、どこににげればよいか不安